



日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

第83号

2008年

12月発行

http://www

.ab.cyberhome

.ne.jp/~nakanohp/

しん ぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円

日曜版1ヶ月 800円

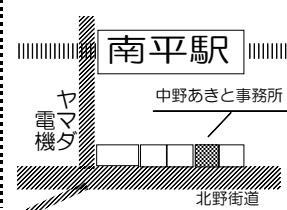
お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など

お気軽にお立ち寄り下さい



「市民の森ふれあいホール」建設工事「休止」!

馬場市長・建設工事の「休止」を発表

一方で「多摩国体には間に合わせたい」

馬場市長は、十一月二十八日、「市民の森ふれあいホール」の建設工事の「休止」を発表し、庁舎内外に衝撃が走りまわった。理由は「昨今の金融危機、不況を背景とした財政難の折、来年度以降の予算措置が困難な状況にあるため」としている。恐慌的な様相を呈し、市民の暮らしや中小業者の経営もかつてない深刻な事態が生まれようとしている中、単に建設コスト(約二五億)だけでなく、相当な維持管理費のかかる大型公共事業「市民の森ふれあいホール」の「休止」は当然のことと言えます。

間に合わせるためには、再来年には、建設工事に取り掛かる必要があり、結局「休止」は一年間にすぎないということになります。百年に一度の大不況と言われるような経済情勢が一年で好転するとしても、市は考えているのでしょうか。

多摩国体へ向けた計画は撤回しかない

多摩国体に間に合わせるといふ計画はきっぱり撤回すべきです。そして市民の森ふれあいホールの建設のためにためた貯金六億七千万を含む、建設のための予算は、大不況で逼迫する市民の暮らしを支え、子育てや介護の切実な願いに応えるために思い切って投入することが求められているのではないのでしょうか。

それでも

「多摩国体 平成二五年には間に合わせたい!」

休止を発表しながら、一方で「とはいえ、平成二五年の多摩国体の開催もありますので、今後は他の事業についても見直しを進め、何とか建設工事に取り掛かれるようにしたい」と馬場市長と述べています。多摩国体に

なお日本共産党市議団は、十月に二度にわたって、市長に対し市民の森ふれあいホールの「凍結」を求めています。

中野あきと

日野市立病院

出産取り扱い

を再開

日野市立病院が、十二月十五日以降に出産予定の方の受付を十一月四日から開始しました。小児科の常勤医師一名と非常勤医師十八名で、出産に備える体制がつけられたことによるものです。

市立病院では三人いた小児科の常勤医師が今年に入りあいついで退職、お産に立ち会う小児科医が不在となり六月以降、出産の取り扱いを中止していました。

市民からは、早期再開を求める声が多く寄せられ、市議会へ提出された「安心してお産ができる市立病院を願う請願」には三〇〇〇筆を超える署名が寄せられていました。



短信

日野市議会では一般質問といつて市長や部長に対し議員が問答形式で、質問と答弁のやりとりを行います。持ち時間は60分です。本会議での問答形式は日野市議会の特徴で、他ではおおむねまとめて質問、一回答弁で終わります。この形式は事前の調査・準備が大切で、議員の力量も試されます。沢山の課題を抱え、持ち時間にあれこれ盛り込み四苦八苦するのは、いざい党議員団の面々で、中野議員はその筆頭です。

▼本会議を全面的にインターネット配信するにしろない、市長の所信表明への質問を、議員一人当たり三分に制限する動きが出されています。いったい三分で何ができるのか。質疑を単なるセレモニーにするというのでしょうか▼活発な論戦は言論の府の命です。ふりかかる金融危機、師走の巷に放り出される非正規の人たち。政治は役割をはたすときです。解散の機会を逸した太郎は「給付金」のバラマキ、一郎は重要法案審議を取引材料扱い。京都清水寺の今年を表す文字は「迷」とでも描くのでしょうか。迷走同士の不毛ないさかいは、国民にとって迷惑至極です。(K)

「侵略国家は濡れ衣」

田母神前空幕長が暴論

解任されても

反省なし

特殊な歴史観

を教育



田母神・前航空幕僚長が懸賞論文「日本は侵略国家であったのか」を発表し、その中で朝鮮や中国の了承を得ないで「一方的に軍を進めた」とは無い

●日米戦争は「アメリカによって慎重に仕掛けられた罠であった」「実はアメリカもコミンテルンに動かされていた」

●侵略国家だったというのは「濡れ衣である」

などと暴論を展開し解任されました。参院での参考人招致でも反省どころか「憲法を改正すべき」「私は間違っていない」とし、麻生首相も尊重すると言明している「村山談話」も「言論弾圧の道具だ」と発言をエスカレートさせています。

航空幕僚長という航空自衛隊のトップである人物が、以前から同じ主張を繰り返しているのに、小泉、安倍、福田、麻生の4代内閣が任用してきた責任は重大です。

自衛隊の階級

区分	略称
将官	統幕長
	空幕長
	将
	将補
佐官	1佐
	2佐
	3佐

統幕長、空幕長は階級ではない

田母神氏が自衛隊統合幕僚学校長時代に「歴史観・国家観」の講義を新設しました。講師として侵略戦争を美化する「新しい歴史教科書をつくる会」の副会長などが「『自存自衛』の止むを得ない受身の戦争」だとか「現憲法体制は論理的に廃絶しなくてはならない虚偽の体制」とまで教えています。

このようなことを放置すれば、第二、第三の「田母神」が生まれかねません。異常な教育を根本からは正し、憲法と政府方針をないがしろにする自衛隊内の危険な風潮を一掃することが急務になっていきます。

※統合幕僚学校の「学生」は陸海空の将補や一佐、二佐クラスで、将官や上級幕僚への「登竜門」とされている。

【アンケートへの取り組みから】

「信号機をつけて」「安全対策を」

日本共産党市議団、同都議団の共同で実施した「市民アンケート」は900通をこえる回答をいただきました。この中で交通安全にかかわる緊急な要望をまとめ、11月21日日野警察署へ申し入れを行いました。担当部署から具体的な回答がありました。南平、平山、豊田、東・西平山地域の要望箇所をお知らせします。（他の地域は省略しました）回答は順次お知らせする予定です。

- ・高幡橋南詰交差点・・・右折信号、右折レーンを
- ・平山1丁目バス停付近・横断歩道へ信号を。カーブで横断歩道見難い
- ・平山5丁目交差点・・・右折信号を
- ・平山橋北交差点・・・右折信号を



地域ニュース

【南平駅のバリアフリー化、住民・利用者の『会』が発足】

エレベーターの設置など京王線南平駅のバリアフリー化は、日野市と京王電鉄との間で協議が行われていますが、計画を確実に実施し利用者や周辺住民の要望を反映させるために、利用者・住民からなる「南平駅・バリアフリー化をすすめる会」が発足。日野市への陳情や京王電鉄への要望の署名運動が取り組まれています。

【区画整理懇談会開かれる】

中野あきと市議を助言者とする東・西平山地域の区画整理懇談会が11月24日開催されました。区画整理が進んできていることもあって具体的な話が出されました。ご夫婦で出席される方も増えてきました。個人相談も行われました。



改めて問われる知事の責任 新銀行東京の不正融資 都議会議員 村松みえ子

みえ子の 飛びある記



9月都議会の代表質問で私は、都民要求や生活支援と共に、経営破たんにおちいった「新銀行東京」問題を取り上げ知事の責任を質しました。

知事の特別秘書や与党都議などによる融資口利きや新銀行を食い物にしてきた金融ブローカーなど、実態を調査し全容を明らかにするよう求めました。融資を受けた企業や経営者からは、献金が行われている報道もあります。「紹介の有無にかかわらず厳正な審査で融資の判断をしている」と、石原知事は答弁しましたが、そうであるなら今度のような不正融資の問題は起きないはずです。「（口利きは）当たり前じゃないか」と言ってきた知事の責任が改めて問われます。

「厳正な審査を行ったのであれば、知事が責任を押し付けてきた旧経営陣に責任がないことになる」と、再答弁を求めましたが知事は立たず、代わりに局長からもまともな答弁はありませんでした。

《09年1月の無料法律相談》

村松みえ子事務所

1月の相談はお休みです
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
1月 8日（木）

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所 TEL042-582-1042

中野事務所 TEL042-599-3350